

芳泉中発未来へ

「生きる力」を育む教育をめざして

平成29年7月
芳泉中学校
学校だより

一学期の部活動、お互いに切磋琢磨しながら頑張りました

平成二十九年度の芳泉中学校の一学期も終わりに近づきました。生徒の皆さんにとって、どのような一学期だったでしょうか。

さて、今年度のキーワードは「磨く」ですが、一学期の部活動でもたくさん生徒が切磋琢磨しながら頑張ってくれたと思います。中には、残念ながら地区予選で敗れたところもありましたが、その悔しさを次へのステップとして、「振り返り」を大切にしながら次の勝利をつかんでほしいと思います。

なお、今年度の一学期の間に開催された備前西地区中学校夏季体育大会（兼岡山県中学校総合体育大会備前西地区予選会）等の部活動の大会で、予選を勝ち抜き県大会への出場権を獲得したものを中心に裏面に掲載していますのでご覧ください。（※ホームページには掲載していません）

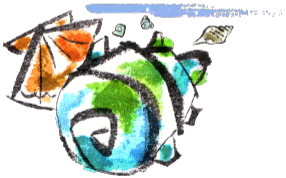
転勤してこられた先生方が感じた芳泉中の生徒の素晴らしさとは？

四月の退任式では十八名の先生

| 先生 | 転勤してきて1学期に感じた芳泉中の生徒の素晴らしさ |
|----|--|
| A | 生徒がたくさんいるのに校内が静か。廊下を走ったりする子がいない。歩き方なども含めて、生徒の行動が落ちついている。 |
| B | みんな明るくて礼儀正しい。 |
| C | 困っている人の手伝いがとても自然な感じのできる。やさしい。「ちょっと手伝って」と友達や先生から頼まれたときの子どもの反応がすごくよい。 |
| D | 千人近い生徒数にもかかわらず全校集会の規律が素晴らしい。先生が大きな声で指示を与えなくても整然と誰一人私語がなく静かに集会ができることに驚いている。 |
| E | 生徒一人一人の規範意識がとてもしっかりしている。 |
| F | 生徒の自立度が高く活動に活気がある。自分で考えて動くことができるので、先生のアドバイスへの反応もよく、よい声が出る。 |
| G | 係活動など今自分が行うべきことへの責任感が強い。ボランティアを募集しても人数オーバーで調整が必要となるなど主体的に活動しようとする意欲も素晴らしい。 |
| H | 生徒が主体的に行動でき、思いやりの心も育っている。そのため、どのクラスでもグループワークがとてもスムーズにできる。 |
| I | 生徒に活気がある。また、自分がしようと決めたことに向かうエネルギーの強さがある。 |
| J | 他の人への手助けが自然にできる。また、穏やかに注意してもほとんどの生徒がすぐに行動を正すことができる。先生の言うことをよくきいてくれる。 |
| K | 素直な子どもが多く、自分の言葉で自分の意見などを表現しようとする意欲が高い。 |
| L | 人なつこく社交的だと思う。成績に関する向上心が強い。 |
| M | 人と人の距離感が近く、先生の言うことに対して素直に一生懸命に耳を傾ける姿勢が素晴らしい。班活動でも困っている人に対して思いやりがあり、フォローが自然にできる。 |
| N | 掃除や係活動など損得勘定なく自然に行動できる姿が、一緒に生活していてとても気持ちがいい。先生に言われたことを素直にやってみようとする姿勢もとてもよいものがある。 |
| O | 素直でかわいい。あいさつがよくでき、男女の仲がよい。服装が全体的にきちんとしていて、言葉遣いも穏やかで丁寧。敬語がちゃんと使える。読書が好きなお子が多い。 |
| P | 生徒が社交的で学校の雰囲気明るく、人の話を聞く態度がとてもよい。リーダーが育っている。特に生徒代表のあいさつは中学生離れしていて、続いて話す先生のプレッシャーになるくらいいつも素晴らしい。 |
| Q | 集会の時の生徒たちの姿勢がとてもよい。ものが紛失したり器物が損壊されることがなく、学校がとても落ちついている。部活の生徒の声もよく出ている。 |
| R | 部活動の片付けなど進んで気持ちよく動いてくれるところが素晴らしい。あいさつもとてもよくできる。 |

さて、A～Rは、下の枠の中のどの先生のコメントでしょうか？

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 大野泉先生(養護) | 森永ちひろ先生(国語) | 山田素子先生(美術) | 今田啓輔先生(特別支援) |
| 平田啓子先生(数学) | 妹尾源子先生(図書館) | 兼本三佳先生(事務室) | 池田好美先生(養護) |
| 岡実味先生(国語) | 古川裕也先生(社会) | 田中純子先生(国語) | 中村大介先生(数学) |
| 徳弘誠也先生(理科) | 山口順子先生(保健) | 藤井重信先生(保健) | 永野直樹先生(新採用指導) |
| 藤枝茂雄先生(副校長) | | | |



期に地域の方から学校への連絡やお叱りが最も多かったのは登下校、特に下校時の自転車の運転マナーに関するものでした。二列、三列になって話をしながら並進する自転車は車を運転するドライバーにとって大変危険な存在となりまして、自転車のマナーについても芳泉中学校の生徒は素晴らしいと言われますよ、一人一人が注意しながら安全な登下校を行うようにならしてください。

歩さんが、追悼の辞を述べました。本校の教育活動の中でも、人権・平和学習の担当の先生が岡山空襲の写真や資料を岡山市から借りてきて廊下に展示されていましたが、このような機会をとらえて何度でも平和の尊さを考えてほしいと思います。

岡山市戦没者追悼式で、本校の永橋さんが市内の中学生を代表して追悼の辞を述べました

去る六月二十九日には、岡山市民会館で岡山市戦没者追悼式が行われました。この追悼式には遺族の方々をはじめ、市内の中学生も参列しています。今年度は、市内の中学生の代表として本校生徒会長の永橋明

自転車の並進等交通ルール違反は大変危険です。正しい乗り方をして事故を防ぎましょう

校内では大変落ち着いて生徒の皆さんが勉学に取り組むことができている芳泉中学校ですが、一学

期に地域の方から学校への連絡やお叱りが最も多かったのは登下校、特に下校時の自転車の運転マナーに関するものでした。二列、三列になって話をしながら並進する自転車は車を運転するドライバーにとって大変危険な存在となりまして、自転車のマナーについても芳泉中学校の生徒は素晴らしいと言われますよ、一人一人が注意しながら安全な登下校を行うようにならしてください。

戦没者追悼式 中学生代表追悼の言葉

私たちが立っているここ岡山市は、七十二年前の今日、岡山大空襲により、多くの尊い命が奪われました。あたり一面は焼け野原となり、岡山で平和に暮らしていた何の罪もない人たちの心を、身体を、次々と傷つけました。岡山大空襲で亡くなられた方々に追悼の意を表します。

今、この世界には核実験を行おうとしている国や、未だに内戦が続いている国などがあり、いつ再び戦争が起るかわからない状態です。だから私は再び地獄を見ようとしている人たちに伝えたいのです。「戦争の無意味さ」というものを。戦争をして、何になるのでしょうか。戦争は何を生み出すのでしょうか。それは、お金でも名誉でもありません。戦争が生み出すものはただ一つ、抱えきれないほどの悲しみです。

私は、今年五月、修学旅行で被爆地長崎を訪れました。そこで見た原爆資料館に展示してあった写真を私は忘れることができません。

その写真は焼け野原の中に立つ、顔面すすだらけの小さな男の子の写真でした。母の手を握りこちらを見つめている彼の目には、悲しみしかありませんでした。あんな悲しい顔を私は未だかつて見たことがありませんでした。彼の顔はいかに戦争が無意味なものなのかを物語っていました。私はその写真を見て「絶対にもう二度とこのような過ちを繰り返してはならない。」と思いました。過ちを繰り返さないために、たとえ難しくても、この世界に住む一人一人が「世界平和」を願うこと。それが最も大切なことなのだと思います。私が今、岡山市でこんなに平和に暮らしているのは、岡山大空襲で完全に都市の機能を失った岡山市を復興させてくださった方々や、私たちに戦争の悲惨さを教えてくださった方々のおかげです。

次は私たちの番です。平和な岡山を後世に繋いでいけるよう、誠心誠意頑張りたいと思います。岡山大空襲で命を落とされた方々のご冥福をお祈りして、追悼の言葉とさせていただきます。

平成二十九年六月二十九日
岡山市立芳泉中学校
永橋 明歩